

【最速でビジネス無双を  
確実なものとする

「重課金戦略」放談会音源】

～知っている人だけがフル活用、  
表立っては言いにくい、  
人生/ビジネスにおける不都合な真実とは

セミナーにご参加下さった方ならびに  
音源をお聴き下さった方からの  
ご感想集

私は企業で法人営業を仕事としています。ともすれば、微課金でも、何なら無課金でも乗り切れてしまう雰囲気かプンプンしている世界です。しかし、課金兵となっていくときに、自分がどう変化していくのか？もっと進化できる、もっと深化できるのかもしれない。そうなったときに、新たな法人営業の境地が開けているに違いない。そう思うようになりました。

本音源がリリースされたときにはそこまで前のめりにはなっていなかったのですが、数回にわたる音源紹介のメルマガが続く中で、ふいに自分の名前を発見したのが運の尽き（笑）でした。

そうです、「重課金兵」というワードが出てきたのです。（笑）  
それも「無課金兵はボコれても重課金兵はボコれない」という、メルマガタイトルに自分の名前を連呼いただくといつてもない僥倖が起きたのです。  
思わずスマホを二度見したのは言うまでもありません（笑）

鮎谷さんにご指名いただいたからには、購入しないわけにはいかない、ということとでさっそく購入に至りましたが、さきに「落穂ひろい」を聴いてしまい、後回しとなってしまっておりました。

この一週間でレポートしながら聴いた感想をまとめさせていただきます。

「負けるはずがないんですよ。だってズルしているわけですから」  
「勝てるやり方で戦っているのだから勝てる」

この言葉は衝撃でした。

私も、書籍購入程度の微課金ですが課金しているほうだとは思っていましたが、重課金兵の鮎谷さんとは発想が違うことに気づきました。

私は「適当に仕事をしている層」の人。仕事でちょっと気になることや興味がわいたことがでてきたときにちょこちょこ本を読む。人生観を深めるために本を読む。流行っているからその本を読む。  
せいぜいこの程度の課金。課金の目的は、自己啓発や自己満足なのだと。

いっぽう鮎谷さんをはじめとする重課金兵の方々は、日々真剣に人生を賭けて課金しまくっている。なぜならぶっこ抜けるには、重課金してフル装備しないと、誰かにタコ殴りされてしまうし、そもそも外見からはその重課金ぶりは見えないから。

おそらく、それぞれの世界の頂点に君臨する方々の間では、「ズルしている」といえるほどに重課金することが常識であり、当たり前であり、みんなやっているよね。ということなのでしょう。

そういった重課金の集積によってつくられた「重課金アート」は、何人にも模倣できないものとなる。

重課金アートのたとえを聞いたとき、楠木建さんの「ストーリーとしての競争戦略」を思い浮かべました。といってもうまく説明ができないのですが・・・。

鮎谷さんでいえば、一見、簡単に模倣できそうな内容（メルマガ出して音源を販売する、コンサルする）をやられているが、その実、構成する一つ一つの要素に圧倒的な重課金とその実装（行動）が含まれており、それらが渾然一体となっており、結果的に絶対模倣困難となっている。

こんな感じなのでしょうか。（つたない表現力で、説明になっていないと思います）

私は企業で法人営業を仕事としています。ともすれば、微課金でも、何なら無課金でも乗り切れてしまう雰囲気かプンプンしている世界です。しかし、課金兵となっていくときに、自分がどう変化していくのか？もっと進化できる、もっと深化できるのかもしれない。そうなったときに、新たな法人営業の境地が開けているに違いない。そう思うようになりました。

名前負けしないよう、これから重課金兵の道を歩んでいきます。

（金兵 孝太郎 様）

今回の重課金音源は、自らの意識の範囲と規模を広げる上で、非常にためになる音源。とすることができるのではないかと思います。

起業家のイーロンマスクは、

「質問したいことをしっかりと理解するには、人間の意識の範囲と規模を広げることが大切。」

という気付きを 14 歳！の時に得たとどこかの本に書かれていましたが、

「意識できないことは存在していないことと同じ。」

と考えれば、意識の範囲と規模を広げるとは、私生活においても、ビジネスにおいても、極めて重要なこと、と言えるかもしれません。

身近な例で考えても、家から一歩も出ず、毎日家で過ごしている人と、海外などを飛び回りながら様々な経験をしている人では、意識の範囲と規模に圧倒的な差がついている。ということは容易に想像できるのではないかと思います。

では、どうやって意識の範囲と規模を広げていくのか。ということになりますが、一つの方法としては、(未知ではなく) 既知の内容から意識を押し広げていく。ということが挙げられるのではないかと考えています。イメージとしては、いきなり料亭の料理を学ぶのではなく、まずは家で毎日食べている和食を起点とし、そこから言葉を増やし、意識を広げていく。という感じでしょうか。つまるところ、意識を広げるためには、具体的なスタート地点を定めることが大切。ということです。

そういった意味において、今回の重課金音源は、自らの意識の範囲と規模を広げる上で、非常にためになる音源。とすることができるのではないかと思います。

なぜなら、「重課金」という言葉から想定されるイメージが(ソーシャルゲームのおかげで) ある程度固着しており、そこを起点とした上で、鮎谷さんの言葉によって、重課金というキーワードから意識の範囲と規模が押し広げられていくからです。つまり、意識を広げる起点がはっきりしているということが、本音源の魅力の一点目ではないかと考えています。

更に、二点目として挙げられるのが、(鮎谷さんの音源そのものの魅力となってしまうますが) 余談を含みつつ、マシンガンのように繰り出される一つ

一つの話題によって、無意識のうちに意識の範囲と規模が押し広げられると  
いう点です。

本音源の結論としては、鮎谷さんが最後に語られていた「もっと勉強しましょう」ということになるのかもしれませんが、この言葉だけを聞いたところで自らに変化変容が起こることは無く、(意識が押し広げられることは無く)、前後の文脈を踏まえた上で情報を頭に入れこまなければ、変化変容が生じる可能性は低い。ということではないかと考えています。

結論だけ書くと語弊があるかもしれませんが、音源を聞かせて頂き、

「今まで以上に重課金を払い、更に勉強をしなければ。」

と思った(意識が広がった)次第です。

今回も素晴らしい音源をありがとうございました！引き続き、宜しくお願い致します！

(株式会社 CODOR 代表取締役 大橋亮太 様)

いずれ生じるべき大きな変化の初動を今ここで発生させうる、という意味では、この音源を手に入れて聴くという決断は、たしかにひとつの、見えづらいかもしれない効果を即座に生ぜしめるものでしょう。まだ買われていない方にとっては、この音源を買うことそれ自体が、「重課金無双」への道をひた走るための重要な一歩になるのではないか、ということです。

今回の音源の内容をごく簡単にまとめるのであれば、次のように言えるかもしれません。

—情報や知識というものは、真に重要で波及効果の高いものであれば、無料・安価で得られるはずがない。寧ろ、特に金銭的な対価を要求するものである。そうした知識や情報を積極的に得ていくことで、つまり「課金」することで、自分の人生のスピードが、ひいては金銭的なものの巡りも速くなり、どんどん拡大していく。するとさらに「課金」できる。そうして「重課金」が実践されてゆくと、着いてこられる人間も減り、「無双」状態が実現されてゆく。こうしたシナリオを念頭において、必要な知識や情報に対しては積極的に「課金」をして、どんどんリアル人生ゲームにおける自分というキャラクターを強く育てていこう。

.....「重課金」のアイディアの源泉である、ソーシャルゲーム内の「課金」ですと、逃れることのできない身体へと直接紐付けられている生活はおそらく上向かず、それどころか、やりすぎると生活が大いに傾く可能性があるわけです。これに対して「リアル人生ゲーム」においては、役立つ装備や情報・知識といったものであれば金を積んでガンガン積極的に買いに行くといよいし、そうしてもトータルでは損しない（それどころか、大いに得である）のだから、「課金」しましょうよ、ということでした。

私のはるか昔にやっていたようなRPGであれば、強い装備や有用な道具というのは極めて高い値段で店で売られているか、あるいはダンジョンの奥深くの宝箱に隠されているか、ボスキャラが隠し持っているか、でした。ゲーム内マネーを払う、あるいは危険を冒すといった対価なしに、そうした道具や装備はなかなか手に入らないということです。「縛りプレイ」の好きな人でもなければ、そうした対価を払って一ゲーム内マネーをじゃぶじゃぶ使ったり、強い敵のいるダンジョンを探索したりして一装備を整えるはずです。

こうした形式は、めぐりめぐって最近の(?)ソーシャルゲームやリアル人生にも見られるのでしょ。極めて大きな違いは、私の限定的な知識が正しければ、恐らく「対価」がほぼリアルマネーによって処理できるかたちになっている、ということです。もちろんプレイ時間や経験は必要なのでしょうが、ちまちまプレイしても

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

なかなか得られない道具やら知識やらが、リアルマネーを投入すれば一発で手に入る（あるいは、必ず得られるわけではないにせよ、少なくとも得られる可能性が大いに向上する）。

なるほど、最近のゲームでもキャラを動かしてみなければうまくプレイできないことはあるはずで、現実世界においても実際に体を動かしてみなければ手に入らない知識というものもあるはずで、とはいえ、実際にやってみるための知識や装備はお金でかなり買うことができ、そのほうがゲームは一画面上のものであれ、リアル人生ゲームであれ一手っ取り早く・大きく回る、ということなのでしょう。

というのに、ことに現実世界では、どうしてもか買おうとしない人がいる。あるいは、「課金」が不十分な人がわりと多くいる。この現実というリアル人生ゲームにおいて、誰も頼んでいないのに、特殊な達成感などありはしないのに、わざわざ「縛りプレイ」をやっている人が多い。

こうした状況に対する見方が不正確でないとするならば、リアル人生ゲームにおける「重課金無双」を説く今回の音源は、(メルマガの読者でない人を含む、多くの人々には) 広く受け入れられるものではないかもしれないけれども、或る種の劇薬として一定の層を奮起させる効果はありそうで、その点で良かったなと思われま

思えば「身銭を切って学ぼう」とか、「成果を得るためには対価を支払わねばならない」とか、「自己投資は大切だよ」ということはどこでも言われているわけですが、そうして使い古された言葉ではなく、「重課金無双」などという現代的で(?) 少しく不穏な言葉を何度も使うことで、(将来の) 聞き手の精神に繰り返しスマッシュをぶちこむ、あるいは秘孔を突くような音源になっているのだと思います。

こうした事情ですから、テーマないしは発想の点で深く関係するのは『人生ゲーム化音源』ですが、目標に接近するために対価を差し出すことに関する端々での言及は、様々な音源で既に断片的に成されているわけで、それらの音源を新しい気持ちで聞くきっかけになるのではないのでしょうか。

■  
思えば、保護者が子供にかかる教育費も、或る種の「課金」であるとは言えそうです。もっともこの場合、出資者が金銭的「リターン」を直接的に得るわけではありませんが、とにかく「課金」して子供を強くすることが期待される、とは言えそうです。

たとえば『二月の勝者』という中学受験を題材にした漫画（の第2巻）でも、まさに塾代は「課金」と表現されていましたが、まさにその通りかと思われました。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

義務教育が一応整備されている中でどうして子供を塾に通わせ受験させて、良いとされる学校に入れようとするのか（あるいは「受験したい」と子供に思わせるのか）と言えば、保護者は子供の人生の可能性を伸ばし広げてゆくための環境をお金で買っている、ということなのだと思います。

こうした子供の教育費というものは一保護者になったことのない私には想像するほかありませんが一、ある種の積極的な愛情から出ている面もちろんあるとはいえ、特に今はかなり多くの部分、将来の世界に対する不安の入り混じった危機感から来ている面もあるのではないかと思われるのです。

経済の状況が悪くなって、世界の情勢も混迷を極めていく中で、それでもどうにか豊かに生きていくためには教育が必要で不可欠である、と思われるからこそ、「子供の教育には金をかけなければならない（子供には「課金」すべし）」という、緊張感・危機感を伴った空気が醸成されているように思われるということです。

現実の保護者というものがどのくらいはっきり意識しているかどうかは別にしても、子供の教育に関してはこのように金をかける気持ちを持つ保護者がかなり多く、それが社会的に当然のものと看做されているということは、大勢としては正しい読みなのだと思います。

しかし、翻って保護者という立場にある人や、あるいはそうでなくてもいい歳した大人が、これからも変化しつづける世界を生きていく（生きてゆかねばならない）他ならぬ自分自身を教育するために「課金」する、という観点は、どこかすっぱり抜け落ちているような気がするのですね。

自分の子供に金をかけるのはもちろん当然良いことである・当然であるということがわりと広く認められている一方で、自分に対する教育を行いつづける人というのが一体どれくらいいるのかしら、と疑問に思われるということです。もちろんメルマガを読んでいるような方々には、積極的にやっている人が多いのだと思いますが、広く世界を見ると必ずしもそうではない。

特に「教育費が家計を圧迫！」「大学まで通わせるとこれだけお金がかかる！」とかいうニュースや新聞の記事を見ていると、子供に対する教育の必要は前提されているようです。それはそれでももちろんよいのですが、子供を持っている保護者やいい歳した大人のほうは、果たして自分を教育することに意識を向けているのかしら、自分に「課金」しているのかしら、という疑問が浮かぶようになりました。

もちろん、当座の可処分所得という限界は現実的なものとしてあるわけで、その中での配分のありかたは避けがたく個々人に委ねられているわけですが、その範囲

の中でも然るべき知識や情報に「課金」をして豊かに生きられるようになっていこう（そしてトータルで、自分が望む範囲のオイコノミア＝家政を豊かにしよう）、という方向に目を向けられている人がそれほど多くないということが、どうにも裏読みされるようです。

言い過ぎかもしれませんが、「重課金」をする人が少ない、それどころか無課金プレイを継続する人が多い（ように見える）のは、自分のこととなると「課金」という発想が湧かないか、人生を少しでも良くしようと考えたことがないか、あるいは諦めているか、なのでしょう。こんな事情が、子供の教育費がしばしばクローズアップされる一方で、大人が自らを教育するための費用というものが表立っては取沙汰されない、という事態のひとつの説明として可能なのかもしれないな、と思われました。

直接的にお金を儲ける方向に向かうかどうかはともかく（と一応留保をつけますが）、どうあっても変化する、そして変化耐性がヨリ高い後進が無限に出てくる社会ですから、私たちは一生勉強しつづけるしかなく、そのために「課金」が永遠に必要なになると思うのですが、どうもそうはっきり考えている人が少ないのかもしれない、ということです。

だからこそ、逆に言えば、今すぐにできる範囲で「課金」を進めてゆこうと決めれば（そして購入されていない方はこの音源を買えば）、その決断の瞬間こそが好機になるのではないかと思われます。

■  
今後のことを考えるうえで確実に役立ちそうな本音源ですが、過去や現在に対して解釈を与えるにしても、自分がどのような「課金」を行ってきたか、という視点を得られる点、自分の課金履歴を見直すきっかけになる点でも、この音源は興味深い効果を持つようでした。

なぜなら、自分がこれだけの金額を「課金」してきた、という履歴があれば、人によっては（空虚かもしれないが役に立つ）自信につながるかもしれず、あるいは自分の今後の具体的な課金計画を立てることにもつながるかもしれないからです。

私の場合、そもそも少ない元手の中から投下されているのは、大学に払い続けている学費と、書籍です。特に学費は、考えてみればサブスクリプションととしての性質が強く、まさに「課金」らしい「課金」だな、と思われました。「授業・図書館・研究施設に加えて、学会に参加するための身分ももらえて、ちゃんとやれば学位をもらえる年間パス」という具合です。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

日本でお世話になっていた先生からも、「研究者が自らの必要とする辞書や資料を買わないのは、戦士が剣や鎧に金を出さないようなものでたいへん愚かしい」と言われていたこともあって、許されている研究費の枠を大いに超えて、「廃課金者」にならぬ程度に（生活が営める程度に）本を買いつづけています。部屋を埋め尽くす書籍を読みきるということは流石にないにしても、こうして「課金」することで見えない世界が見えるようになって、研究も回せるようになったところがありますし（というより入り口に立つことができたようですし）、素早く回してゆくことで、これまで目が行かなかった業界の構造にも気づけたところがあります。

全体としては小さいながらも、大学に入った頃と比べてみれば、「課金」の規模は著しく拡大しており、その中で細々とシステム構築も進んだようです。はじめの頃は1000円しない新書もビクビクしながら買っていました。今は呼吸をするように20000円する研究書を買いますし、海外からの論文の取り寄せもバシバシ行っています。そのために、つまり或る意味で「重課金」するためにどうにか金を稼ぐという態度も、透徹した意識があったかどうかはともかくとして、また小規模なものであるとはいえ、実践されているところでした。

つまり（ある専門分野で）課金をするという覚悟ないしは決断が、生活のありかた全体を少しずつ変えていく・変えつづける駆動力になっているということです。

もちろんこんな個人的経験をビジネスの文脈に直接当てはめるのは困難なことかもしれません。私の携わる分野の「課金」は、直接的には金銭的リターンをかえしてはくれないようですし、いくら「課金」をつづけても、それを儲けにつなげるという意味がなければ儲からないはず（悪いというわけではなく、そういう仕組みになっているということです）。

とはいえ、構造の面では似たところがありそうです（なので、感想という体を借りて自分で整理したということです）。

つまり、誰であれ、使うことのできる資源を一端的に言えば金と時間ですが一自分の目的にかなう限りで、そして（大きな）リターンが期待される限りで惜しみなく使ってゆくということが、何であれ極めて重要になってくる、ということではないかと思われま

す。  
そして多くの領域においては、正しく「課金」すれば、金銭的リターンもついてきて、しぜん規模が拡大してゆく（そして「無双」しはじめる）というなりゆきなのでしょう。

■

科学研究においては、先行研究の積み重ねを利用してその先を目指すことが基本になるわけで、そのような作業が、ニュートンやシャルトルのベルナルによって「巨人の肩に乗る」というたとえを用いて表されることは周知の通りかと思われます。先行研究の山(=「巨人」)を利用することで、小人たる我々はより容易に・より遠くの景色を見渡すことができる、という具合です。

あるいは、早くも5~6世紀頃に文法学者プリスキアヌスが「後に生まれた者であるほど、洞察に優れる」と述べているのも、同じ事情であるようです。

とはいえ、ふつうは、巨人の肩に乗るにも金が必要です。先行者よりも「後に生まれた者」である我々、未来と比べれば一番若い我々が、先行者の成果を得て自らの洞察を強化するにも、代価を払わねばなりません。市場からほど遠く見える学問研究においてさえ、ふつうは大学や図書館に「課金」して巨人の肩に乗り、そうして見えた景色は学会に「課金」して示すわけです。

特に資本主義社会で生きていくのに必要性の高い知識や技術であればなおさら、まず金銭を使って情報や知識を獲得しにいかなければ、流れの中に入ることもできず、自分の自由になる流れも大きくなりません。ということは、必定でしょう。逆に、金銭を使うのを厭わなければ、流れの中に入って、自分で渦を巻いていくというなりゆきです。

つまり、「重課金無双」するか、あるいは低課金・無課金で極めて制約されたプレイを貫徹するか、に分かれてしまうのだと思われます。

(的はずれな推測かもしれませんが、この構造が、世帯別年収の分布がM字カーブを描くことのひとつの原因ではないかとも思われるようです。)

## ■

こうしてみると、もちろん個々人の可処分所得という現実的限界は考慮しなくてはならないにしても、必要と思われる「課金」を実施しない手はないはずです。

「課金」の対象にももちろん色々ありますし、各人の専門や生存戦略によっても変わってくるものではあると思いますが、とまれ「課金」そのものをすすめるものとしての今回の音源は、汎用性に鑑みて、高値であるようには思われません。寧ろそれぞれに課金するための第一歩、「課金事始」として買ってみるのも良いのではないかな、と思われるところがありました。

もちろん、実際に課金を進める中でこそ現実への反映が生じうるのでしょうから、

■当音源(重課金無双音源)はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

この音源そのものにわかりやすい即時的効果があるかどうかはわかりません（これは他の音源と同じです）。しかし、いずれ生じるべき大きな変化の初動を今ここで発生させうる、という意味では、この音源を手に入れて聴くという決断は、たしかにひとつの、見えづらいかもしれない効果を即座に生ぜしめるものでしょう。まだ買われていない方にとっては、この音源を買うことそれ自体が、「重課金無双」への道をひた走るための重要な一歩になるのではないか、ということです。

今回は、ありがとうございました。

（R. H 様）

本音源、まさに、「買おうかな～、どうしようかな～」と、課金を迷っている人こそ、課金後、大きな変化が待っていると思います！

鮎谷様

いつも貴重な音源、有難うございます！

本音源、まさに、

「買おうかな～、どうしようかな～」

と、課金を迷っている人こそ、課金後、大きな変化が待っていると思います！

「人生は重課金で上手くいく」

とんでもない表現に見えますが、これは紛れもなく、事実だと思います。

スポーツの世界でも、超一流の選手ほど、競技そのもの以外でも、

「マインド（専門コーチ）」

「食べ物（専属のシェフ）」

「体幹（専門トレーナー）」等々、

重課金しているのがわかります。

私自身、会社員として、また副業である程度上手くいくようになったのは、今振返れば、間違いなく、重課金の効果です。

会社員人生のスタートは、同期内でも中の下以下のポジションでしたが、ジワジワと順位を上げ、会社内という狭い世界では、それなりのポジションまでくることが出来ました。

これも、「床が抜ける」と家族に嫌がられるくらい本を購入したり、10年以上前に鮎谷さんのメルマガ広告に乗せられ？（記憶違いでしたらスイマセン）大前研一さんの通信のビジネススクール（のようなもの）で学んだり、副業についても、普通の会社員の方であれば間違いなく躊躇する、かなり高額セミナー等で繰り返し学んだからに他なりません。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

もちろん、途中で挫折したり、無駄で放り投げたりした失敗教材も多々ありますが、トータルで見ると、確実に回収して、さらに大きな利益を得ることが出来ています。

といいながらも、やはり課金前は今でも悩めます。。

最近では、鮎谷さんの個別コンサルも、かなり高額な課金のため（スイマセン・・・）、  
申し込み前は相当悩みましたが・・・受講中の今となっては、心の底から、申し込んでよかったと思っています！

「行動力がない」という悩みの相談からはじめ、すぐに理想の自分に變化したわけではありませんが、自身を動かす OS が明らかに變化しつつあり、元々解決したかった悩みの解決をはるかに超える効果が得られつつあること、実感しています！

「誰でも、楽に、すぐに儲かる！」ものではありませんが、数年単位でみれば、計り知れないほど大きなリターンがあること、確信しています！！

今後も、課金先をしっかりと吟味しつつ、必要なものは躊躇せず課金をし、更によりよい人生にしていきたいと思えます！

（K. M 様）

ここまで理論と実践を掘り下げて圧と熱量をもって課金を肯定されたもの  
を知りません。

この度は素晴らしい音源をご提供くださり、誠に有難うございました。

今回、特に印象に残ったことは、誰もが何となく感じていたけれども認め  
たくないこと、不都合な真実をオブラートに包まず分かりやすい形で言語化  
されていたことでした。

ここまで理論と実践を掘り下げて圧と熱量をもって課金を肯定されたもの  
を知りません。

鮎谷さんご自身が重課金によってさまざまな深刻な悩みを克服し言語化し、その  
金額がぶち抜けていることに驚きました。(23区内に戸建てが建つレベル)だから  
こそ断言できることなんだと納得しました。

また、重課金すべき適切な基準・NGワードなども教えていただきました。

本能は、裏ワザや安易なノウハウにすぐ手を出しますが、それらを拒絶することで  
地雷を踏まないで済むこと、ソシャゲ違ってビジネスを加速して人生を楽しくす  
る重課金は、決して損はないこと、これらを肝に銘じます、

微課金から始めて経験をつみ、レバレッジをかけて重課金無双に飛翔して、壮大な  
ピラミッドを構築してまいりたいと思います。

これからも、誤った認識を書き換え、目の覚める本質的な音源を楽しみにし  
ております。

このたびは深い学びの宝を頂き、誠に有難うございました。

(Y. F 様)

自分の成功事例・具体例をそのまま押し付けてくるサービスは数多くありますが、その人自身の価値観に沿った解決策・思考法を提示していただける方は稀有です。

過去の3日間セミナー音源の中の伏線であった(?)  
軟禁についての詳細が暴露されるという貴重な音源となりました。

鮎谷さんのおっしゃる言葉一つ一つが生々しく、それゆえに胸に突き刺さります。

課金している人と課金していない人の差、また、どの領域（ゲーム or ギャンブル or 人生）に課金するのかという抽象度高い視点。

目標設定3部作、ゲーミフィケーション音源、システム-カオス音源に続いて今回の重課金音源を聞くことで、

「いかにして自身の人生をゲーム化してゆくのか」

という“自分なり”の手法が明確になってまいりました。

この“自分なり”の手法を見せてくれるところが鮎谷さんのサービスの特徴だと改めて感じています。

抽象的であるため最初はおぼろ・漠然としたイメージ。

「はあ、そういうもんなのか、、、？」

という感想から始まり、複数の音源を組み合わせるとリピート再生のカウントが上がっていくたびに、イメージの輪郭が徐々にくっきりはっきり浮かび上がってくるという感覚です。\*

自分の成功事例・具体例をそのまま押し付けてくるサービスは数多くありますが、その人自身の価値観に沿った解決策・思考法を提示していただける方は稀有です。

このような意味で、改めて「ありがとうございます！！」とお伝えさせていただきます。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

人生という最大に楽しい、最大にリアルなゲームに対する熱量・欲求が湧き上がってきましたので今まで「イベント」として取り扱ってきた成長の機会を「習慣」にどんどんコンバートしていきます！

また音源のタイトルに「課金」とついていますが、無課金時代のアクションも具体的に教えていただいたので（え、そんなことやってたんすか！？とマジびびりました）金のみではなく、熱量、時間など“何を課するのが”という観点で世の中を見てもようと思ひます。

以上です。ありがとうございました！

(M. M 様)

これからの人生において、かなり波及効果の高い音源でした。

今回の【重課金無双音源】ですが、個人的に薄々と感じてはいたものの、オブラートにつつまこみ、あいまいなままにしようとしていたことを、明確に言語化し、目の前にさらけだし、あきらかにしていただいた衝撃の音源でした。

考えてみれば、当たり前のことでもある、課金したら、それだけの時間短縮になり、自分ひとりでは手に入れることのできない思考や経験からの学びが手に入る、ということ、明示していただいたので、これまでのお金を使うときのモヤモヤが、一掃された気分です。

とはいえ、いまだに躊躇する場面も多いので、この音源を繰り返し繰り返し聴き込んで、意思決定基準を上書きし、これまで自分にとって「不都合な真実」だった【人生、重課金でうまくいく】ということ「好都合な真実」に書き換えていきたい、と思った次第です。

振り返ってみれば、これまでの音源課金によって、かなりのリターンが得られているわけで、こんなにリターンが明確な投資はなく、音源購入一択で、引き続きの、音源提供が、ますます楽しみになった次第です。

これからの人生において、かなり波及効果の高い音源でした。

引き続き、聴き込み&漆塗りを続けていく所存です。

どうぞ、よろしく願いいたします。

(S. I 様)

実際に音源を聞いて刺さる言葉の多さに圧倒されて、更に気持ちが爆上がりするのを感じる事ができました。

鮎谷さん

いつも貴重な音源誠にありがとうございます。

今回は「重課金無双音源」という事で、正直言ってタイトルにめちゃくちゃ惹かれて購入しましたw

以前より目標設定の音源でも代償を支払う事の重要性を説かれていたが、今回の音源でその意味が更に深く理解できて、腹の底に落ちた気持ちになりました。

心に刺さる言葉が多すぎて紹介しきれませんが、私自身一番感じた事は、(重)課金する事で自分自身の心持が変わるという事を再認識できた事が非常に大きな気づきです。

音源の中でもお話がありましたが、自らが自己啓発の為に数万円の投資をするという行為自体で、めちゃめちゃ自尊心が上がる気持ちがしました。

そして、実際に音源を聞いて刺さる言葉の多さに圧倒されて、更に気持ちが爆上がりするのを感じる事ができました。

学びを継続しようというモチベーション高める為にこれ以上の音源はないと思います。今後も継続して鮎谷さんの音源に課金して勉強させて頂きます！

今回は貴重な音源本当にありがとうございました！

(宮山英明 様)

今回の音源では、鮎谷さんがメルマガ、音源などを通じてたびたび言われている「勝つべくして勝つ」を実現するための、重要なピースとなる考えを教えてくださいました。

今回の音源では、鮎谷さんがメルマガ、音源などを通じてたびたび言われている

「勝つべくして勝つ」

を実現するための、重要なピースとなる考えを教えてくださいました。

中でも最も印象に残ったのは、

「お金に執着がないということは、目標に執着がない」

という言葉です。

例えば、スポーツでプロ選手を目指す場合、道具は当然プロ仕様の物を買いますし、良い練習法（本、DVD、スクールなど）と出会えば、お金を払ってでも学ぶむしろ当たり前です。

「お金がないから」

という理由で、道具にも練習法にも投資しないのは、プロ選手を本気で目指してないことの現れ、と受け取られても仕方がありません。

本気でプロになりたいなら、仮に、現時点でお金がないにしても、なんとか必要な課金をするために、できる限りの手を尽くしてお金を用意すると思います。誤解を恐れずに言うと、課金しない選択肢などあり得ないのではないのでしょうか。

「お金に執着する」

というと、世間一般に聞こえが悪い言葉に感じますが、

「目標を実現するための必要資金」

に執着するのは、目標を掲げるなら、大前提として持つべき考え方なのだと理解し

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

ました。

今後とも、オリジナル重課金アートを形成できるように引き続き、重課金を続けていきます。

この度も貴重な音源をありがとうございました！

(N. T 様)

課金せずしてどうやって目標を達成できようか？ということ、それを身をもって経験してこられた鮎谷さんの口から（売れない頃のご自身の体験を赤裸々に告白なさること）ご教示いただいたことによって、より一層納得がいった次第です。

鮎谷さん、

この度の音源におきましても、多大なる気づきの数々をありがとうございました。

改めて学びに対する課金の必要性、というよりむしろ、課金せずしてどうやって目標を達成できようか？ということ、それを身をもって経験してこられた鮎谷さんの口から（売れない頃のご自身の体験を赤裸々に告白なさること）ご教示いただいたことによって、より一層納得がいった次第です。

各種音源やセミナー提供者の鮎谷さんがおっしゃると、ともすればポジショントークにしか聞こえないであろう内容を、あえて自らの体験を引き合いに出しながら語られたということは、課金することによって初めて、学びが学びだけに終わらずに実装し、行動に移すことができるという真実が、まさにそこにはあるからだと考えます。

今や SNS 各種や様々なメディアによって、自分が得たい情報（得たくない情報も）簡単に手に入ります。

では同じ情報を聞いても、それを単に「どこかで聞いたことがある情報だな...」とか、「また一ついいことを聞いた、ためになった...」で終わってしまうのか、或いは「よし、では実際にあれをやろう！」「これにチャレンジしてみよう！」と決めて実際に行動に移すところまで辿り着くかの違いは、まさに課金しているかどうかの違いであり、課金するということは「この人から学びたい」「この人について行きたい」という人がいるということです。

（その最たる人がメンター、師匠であるといえるでしょう。）

また、学ぶことだけに留まらず、それを実行に移すまでがセットであるということ、ドラクエに例えると、武器を購入して（さしずめ武器商人は鮎谷さん）＝学ぶだけ学んで、装備せずに終わると＝行動に移さずに終わると、ただ武器を持っているだけ＝ただ学んだだけ、ということになり、それは全く意味がないという事実を、分かりやすく説明して頂きました。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

プレイ当時、武器を購入したのに、購入しただけで装備するのを忘れて、一向に攻撃力が上がってこないのを不思議に思っていたことを思い出しました。（笑）

実際にあまりにも装備するのを忘れる人が多かったからか、いつの間にか購入と同時に装備が出来るようになっていたと記憶します。

（これが無意識的有能になった＝学びと同時に行動に移せるようになった、ということですね。）

学びに課金するということは、自らに期待するということに他ならないのであり、大きな課金ほど、自らに大きな期待を寄せているといえます。

これからも自らに大きな期待を寄せて（大きく課金されて！？）、学びと実装が同時になされるように、無意識的有能に持っていきます。

今後も変わらずご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

（パーソナルトレーナー兼トレーナー育成コンサルタント 中野茂徳 様）

自分でも副業を、と思い手探りで動いているところだったので、心に刺さるワードが多数ありました。何にせよ、時間を金で買い、優良コンテンツを得つつ大量行動しない事にはもがき苦しんだ挙句に沈んでいく未来が見えました。

これが3度目の音源購入となります。

物語音源、題名の無い放談会、と脈絡なく進んでおりますが、メルマガを読むたびに心に引っ掛かり、買わずにおれない衝動にかられてしまいます。

しかし、自分の可処分所得を考えると、1年に1、2本の購入が限界と、勝手に決めておりました。そんな自分にとって、重課金、というワードは深く刺さってしまい、\*期限ギリギリまで悩みましたが購入を決意。

\*

結果。悩んだ時間ももったいなかったです。(笑)

早速、ナニワ金融道10巻セットも課金して購入。「サヤ抜き」も調べてやっと意味が分かるなど、素人まるだしですが、何とかついていこうと必死で聴いております。

自分でも副業を、と思い手探りで動いているところだったので、心に刺さるワードが多数ありました。何にせよ、時間を金で買い、優良コンテンツを得つつ大量行動しない事にはもがき苦しんだ挙句に沈んでいく未来が見えました。

そうこうしているうちに次の音源がリリースされ、ボーナス前倒して購入するしかないと言泡を吹いております(笑)

通勤時間の1時間を濃密にさせていただき、感謝しております。

もがいて、どうにか浮かびあがりたいと思います。  
ありがとうございます。

(田中 直樹 様)

鮎谷さんが膨大な時間とチカラをかけて得られてきた、良質な意思決定基準（武器や装備）を購入できる「万屋フナタニ」には、これからも通い続けて、良質な意思決定基準（武器や装備）に中課金・重課金させて戴きたいと思います。

いつもお世話になりありがとうございます。

今回もたくさんの学びある音源を販売して戴き誠にありがとうございました。

これだけソシャゲが流行っている世の中ですが、「君子危うきに近寄らず」と言われるため、私（桑原）はゲーム関係を学生時代に卒業しました。

鮎谷さんが各種音源等で語られている内容くらいしか、ソシャゲ関係を把握していませんが、それでも鮎谷さんがとてもわかりやすく説明してくださるので、おおよそのイメージはついていきます。「重課金」「廃課金」という言葉も、さすが鮎谷さんらしい比喻だと思いました。

また、「課金」含めて「投資」というと、株式投資や投資信託、不動産投資、子供への教育投資など色々ありますが、以前から鮎谷さんがおっしゃるように、「投資は一番リターンの大きいところに投資するもの」という言葉を受け止め、「自らへの投資が一番リターンの大きい投資」と信じて投資（課金）し続けています。

本音源であったように、自己課金・自己投資は、デジタル化されている課金ではないため、消えてなくならないし、燃えたりも盗まれたりも腐ったりもしません。手に入れることができれば一生使っていくことができるものです。それも複利が効いて。

私ひとりだけでは、いくらかかっても得られなかった学びや武器や装備は、課金によって得ることができるのがこの世の中。

それ相応の学びや武器や装備を求めると、確かにお金がかかるものです。「鮎谷さんから無尽蔵に学びたい」「だからお金が必要」という目標ももっています。

鮎谷さんが膨大な時間とチカラをかけて得られてきた、良質な意思決定基準（武器や装備）を購入できる「万屋フナタニ」には、これからも通い続けて、良質な意思決定基準（武器や装備）に中課金・重課金させて戴きたいと思います。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

今回も貴重な学びをありがとうございました。

P.S. 9月17日（木）に待ちに待った念願の長男（第三子）が生まれました。長女や次女含めて、鮎谷さんの音源を聴かせて英才教育していきます笑

（桑原考太 様）

本音源を聴いて、価値ある情報はタダでは転がっておらず、価値ある情報を得たいのであれば身銭を切って求めるべきであるという、わかっちゃいるけれどできていない思考のバグを強く意識しました。

いつも音源を聴かせていただいております。

今回の重課金無双音源は、タイトルが刺激的であったこともあり、購入することに決めました。

本音源を聴いて、価値ある情報はタダでは転がっておらず、価値ある情報を得たいのであれば身銭を切って求めるべきであるという、わかっちゃいるけれどできていない思考のバグを強く意識しました。

なぜその思考のバグに陥るか考えてみたところ、日常の課題に対して、その対処方法をネットに掲載されている無料で転がっている情報・アドバイスで対処しているために、何の違和感もなく情報はタダで手に入ると誤った認識をデファクトとして持ってしまうのではないかと思った次第です。

しかしながら、この音源を聴いて、その思考が自分が勝負したい土俵においては非常に危険であり、考えれば当たり前なのですが、重課金して有利な情報やスキルをゲットしたライバルに対して、無課金・微課金では勝てないという不都合な真実突きつけられた気持ちになりました。

この音源が闇雲に重課金せよと煽るものなのではなく、自分が勝負する土俵においても重課金する姿勢を推奨しているものと理解し、そういった姿勢を身につける為に、この音源を継続的に聴こうと思います。

今回も新しい学びをありがとうございました。

(N. K 様)

重課金が成功において大切なことは実はよくわかっていて、大切なことゆえに、あんまりしゃべらないし、あえてしゃべって嫌われることもないと、黙っているのではないかと想像します。

この音源は、興味深い内容でした。

教育を受ける、あるいは受けさせ、その人の能力やよい習慣、考え方などを修得するには、  
それなりの質のよいもの、環境が必要ですので、やはり課金（金の投資）は必要でしょう。  
また、それを享受するための時間も必要です。

課金するために稼ぐことも必要ですし、時間を買うための資金稼ぎも重要です。このあたりも、他の音源とよく合致して理解できました。

課金しても（私は微々課金ですが。。。）、得るものが少ないことが続くと、どうしても微課金、あるいは無課金で、なんとかしようとか、小さくなんとかなってしまうと、逆にそれで満足してしまうこともあります。汗

課金がわかっている人は、「ハズレ」があってもたまにヒットすることがあれば、損した以上に得るものが大きいことがわかっているのではないかと思います。

成功した人が、その課程においてどのように課金したのか（努力に注目されることが多いです）も、なかなかわかりにくいと思いますが関心を持って探してみようと思います。

重課金が成功において大切なことは実はよくわかっていて、大切なことゆえに、あんまりしゃべらないし、あえてしゃべって嫌われることもないと、黙っているのではないかと想像します。

あえて音源とされた鮎谷さんに感謝します。

（A. M 様）

まだまだ足りませんが、学びに全突っ込みして、カネで学びを買って、とにかく前に進みます。(音源の中で「無課金兵は簡単にボコれるが、重課金兵はボコれない」という例えが刺さりました。)

いつもお世話になっております。

今回も素晴らしい音源の提供をありがとうございました。

以下、感想をお送りいたします。

まず、リリース時のメールの文章でやられました。

仕事におけるの無双、つまり「相手の勢力如何に左右されない圧倒的な力を発揮するさま、誰に阻止されることもなく縦横無尽に、あるいは傍若無人に振るまうさま」、を作り出せばとても楽しくなりませんか？

という投げかけ。・・・楽しくなること間違いなしです。

そこから、鮎谷さん自身の経験を踏まえた、「すべての学びは遅効性」であり、学んだことが形になるのは1年後なのか数年後なのか10年後なのか、いずれにせよ学び続けることが大切で、報われない今は、現状の姿は世を忍ぶ仮の姿、という他の音源にもでてくるフレーズで、自身を振り返り勇気づけられました。

まだまだ足りませんが、学びに全突っ込みして、カネで学びを買って、とにかく前に進みます。(音源の中で「無課金兵は簡単にボコれるが、重課金兵はボコれない」という例えが刺さりました。)

そもそも、常識的に考えて、価値あるものが無料なはずがなく、むしろ相応の金額でなければおかしいのは当たり前ですね。

必要なもの、ことに「課金」し続けて成長スピードをあげて、さらに「課金」できる状況に自分を進め、そのサイクルを回す中で「重課金兵」になり、結果的に他の追隨を許さない「無双」を目指して精進します。

こうした概念を持てただけでも大きな学びでした。

この度はありがとうございました。

(菅沼 文秀 様)

音源を拝聴し、「やはりそうであったか！！」と多くの気づきを頂けました。

重課金無双音源、当初は単純に言葉通り課金すればおおよそのことは簡単に（苦勞せずして）手にすることが出来る、つまりは時間を掛けず、ショートカットして手にすることが出来る内容かと思って購入を控えていましたが、日々メルマガの内容を拝見していくうちに「それでだけではないな」との思いから購入致しました。

音源を拝聴し、「やはりそうであったか！！」と多くの気づきを頂けました。他の音源でも言葉を変え、事例を変えて語られていましたが、重課金無双になることは一手段でありその根源には目標の達成という大命題がある、と理解しました。

課金して終わりではなく（これまで購入した各種音源も単に聞いて終わりではなく）、課金して得られた知識や行動指針、ノウハウなど様々なメリット（時には「全く役に立たなかった」などのデメリット）を習得・実行し、自身の血肉とし。。。を繰り返す。

これによって、その先にある目標達成に向けた行動を加速させる、レベルアップする、ことが大事であり、課金して一時的な満足（自己満足）で終わらせてはならないと反省致しました。

課金時には得てして金額の多寡で課金の判断してしまいがちになることが多かったことを改め、重課金無双となるべく脳内革命を図ります。

この度も大変有意義な音源をありがとうございました。

（会社員 T. K 様）

意味のある学びはカネさえ払えば手に入るわけではなく、「課金」してでも学ぶという姿勢・学んだことから継続して自問自答していくことが大切なんだと、肝に銘じていきたいと思います。

鮎谷様

この度は、貴重なお話を聞かせて頂き有り難うございました。

お金を出さないと良い情報は得られないと思いつつも、出来れば無課金で良い情報が手に入れないかと何処かで淡い期待を持っていましたが、

「金払わずにいいものが手に入るわけがない」

という言葉で目が覚めました。

投資関係の無料セミナー…。そりゃそうですね。

よくわかる例でした。

自分の会社が儲けるために集めてるんですから、集まった側が儲けられるわけがありませんよね(汗)。

ただ、意味のある学びはカネさえ払えば手に入るわけではなく、「課金」してでも学ぶという姿勢・学んだことから継続して自問自答していくことが大切なんだと、肝に銘じていきたいと思います。

とは言え、学びに対して、課金する気もないような姿勢では自身の変化・変容は望むべくもありません。

これからも、貪欲な姿勢で学んでいきたいと思います。

この度は、有り難うございました。

(林 様)

これからもますます重課金生活を送り、たくさんの学びの機会を得るために「稼ぎ」にさらに注力していこうと考えた次第です。

今回の音源のタイトルはインパクトが強く、中身も非常に刺激的な内容でした。

生きる上で最低限の貯蓄さえ準備した後は、失うものはまだ少ないのだから、学びに重課金して成長していくのが結果を出す近道なのだ、と新たな意思決定基準が打ち立てられました。

これからもますます重課金生活を送り、たくさんの学びの機会を得るために「稼ぎ」にさらに注力していこうと考えた次第です。

この度も貴重な音源をありがとうございました。  
引き続きよろしく願いいたします。

(K. M 様)

「重課金」先として間違いが無いのは、being 目標を考え続けることや、自分自身の OS そのものをまずは書き換えるなどの普遍的な原理原則、意思決定基準、システムの構築のための勉強である、と私は受け止めています。

今回、重課金無双音源を購入させていただいたのは、音源の中身に興味があったというよりは、今後は第2領域に向かって時間や金などのリソースをどんどん投入していこうという、ある種の私の決意の現れとして購入させていただきました。

振り返ると今までは、第3領域や第4領域などを如何に削るかという問題意識に無意識にフォーカスして、第2領域に没入するための余剰をいかに作り出すかということを考えておりました（ということにしておきます）。

音源の中でも「仕入れ」という言葉が使われておりましたが、まさにこの「仕入れ」の工程が第2領域へのリソース投入という形でなされるという理解です。当たり前ですが、「仕入れ」を行う為には時間やお金を始めとしたリソースの余剰を個人でまずは確保しないと行けないのであって、この点がサラリーマンを始めとした社会人が変わりにくくなってしまいう原因になっていると思われる。ほとんどの変われない人というのは普段の生活からこの余剰を無意識に確保できない状況に陥っているのであり、そのような人に対してはその人にとっての当たり前の生活に対して疑問を感じてもらうために鮎谷さんがよくおっしゃる「犠牲を払う覚悟があるか」という問いかけがまずは必要になってくることが多いのでしょう。

また、音源でも「編集力が必要」という話がありましたが、これも仕入れだけでは商品は作れないと言うことを端的に示されていると思います。

高級食材を仕入れただけで調理の工程を行うだけの能力が本人に無ければ高級食材を手元に置いたまま腐らせてしまうのであって、この場合、腐ってしまう前にそのまま転売するなどの手段を取らない限り仕入れは無駄に終わってしまいます。仮に、そのまま転売しても付加価値がほぼないので構造的に大して儲かりません。仕入れを行うことは当然として、調理を行う、商品を生産するための労働の技術もまた大事になってくるのでしょう。労働の技術の向上も自己投資によってなされるものですので、当然そのためのリソースも必要になります。

これらの「仕入れ」「編集力の向上」の過程をより効率的に大規模に行うべきであると言うことを端的に示されているのが今回の「重課金」という言葉だと私は受け止めました。

もちろん、これらの過程を始めから適切に遂行するのは容易ではなく、そもそも重

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

課金の対象を間違えてしまう、効率性を挙げるできない分野に重課金してしまうという事はあり得るのでしょう。それが怖い人はまずはスモールステップとして微課金から始めるのが無難かと思われませんが、それでも最終的には規模を拡大して重課金を目指すべきかと思われます。

もちろん、一念発起して最初から一気に重課金をしまくるという方向性もあり得るでしょう。この辺りは金融商品などを購入する際に未経験のまま大勝ちを狙ってリスク許容度を無視してレバレッジをかけてしまうか、まずはリスクの低い無難な金融商品からコツコツと購入してまずは投資に慣れることを優先するのかといったものと感覚が似ていると思われますし、本人なりの戦略の違いでもあるかもしれません。投資という性質は共通しています。

そして、「重課金」先として間違いが無いのは、being 目標を考え続けることや、自分自身の OS そのものをまずは書き換えるなどの普遍的な原理原則、意思決定基準、システムの構築のための勉強である、と私は受け止めています。

今回はまだ何度も音源を聞けていないので聞き漏らし等があるかもしれませんが、以上のことを思いました。ありがとうございます。

(M. Y 様)

まだ、1度視聴したのみですが、すでに、価値観 世界観がぐらついています(笑)。

まだ、1度視聴したのみですが、すでに、価値観 世界観がぐらついています(笑)。

ゆっくり聞ける時間あるかな?という負の思い込みを打ち破って良かったなと思います。

そして、時間ができたら、、とか、〇〇とか、〇〇〇とか、の無数の言い訳をシャットアウトしてやれることは手早くやる。

気付いていなかったことに気付いたのなら、前倒しで行なう、そんな感覚になっています。

生きている世界観が違ったままで、それを知らずとしないまま、行動をおこなさないままのリスクを痛切に感じます。

今回も、ありがとうございました。

(嘉悦 弘一郎 様)

今回の「重課金無双音源」はその音源の質はもちろん、「平成進化論」でのフォローの内容が、素晴らしかったと思います。

今回の「重課金無双音源」はその音源の質はもちろん、「平成進化論」でのフォローの内容が、素晴らしかったと思います。

特に「学びを求める人」だけでなく「サービスを提供する人」にも価値がある音源である、という部分、また、「重課金/単年度」より「微(無)課金/長時間」という部分は音源の内容と相乗効果起きて、学びが深まりました。

(後から音源を購入される方には、この辺のメルマガの内容は配布した方が良いかもしれません)

この音源のメインテーマとなる「お金」の話は、私を含め多くの方が脳内プログラムにバグを抱えている部分だと思います。

以前に「お金の放談会」に参加しましたが、その内容も思い出しながら、あらためてお金について考える良い機会になりました。

以下に、この音源を通して考えたことを二点、記しておこうと思います。

#### 1、なぜゲームには課金してしまうのか？

多くの方は汎用性の高い学びには投資をしないのに、ゲームやギャンブル、そして安易なノウハウにはお金を出してしまいます。これは一体なぜなのだろう、と考えました。

理由は、音源中でも触れられていましたが、汎用性の高い学びと成果の間には「行動」という壁があるからだと考えます。

ゲームの課金は、課金した瞬間に新しいアイテムを手に入れることができ、キャラの強化を実感することができます。

一方、基本的な学びには、学んで、行動して、成果を実感できるまでに相当なタイムラグが生じてしまいます。

ここがやる気をなくさせる原因なのでしょう。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

基本的な学びについても、何か即効性のある「自分へのご褒美」を用意することが大事なのかな、と考えました。

## 2、お金を出すことの意味について

以前のお金の放談会の中で、鮎谷さんが極端な話、年間プログラムで88万円払って、  
参加してくれた参加者に対して、

「鮎谷は何もしないから、88万の元を取るために自分で考えて動いてください」

と言うだけでも、その意味があると、おっしゃっていたことが心に残っています。

この意味は何となくわかる気がして、やはり、大枚をはたくと自分に覚悟が生まれるものだと思います。

この覚悟が極めて重要なのでしょう。

お金というものは、良くも悪くも、大きなパワーを持っているので、学びだけでなく、自分の行動を促す上でも、重課金には意味があるのだろうな、と感じました。

お金には未来を切り開くパワーがあると、今回の音源で確信できました。  
(同時に転落のパワーもあるのですが.....)

今後、目標とする未来に近づけるよう、お金のパワーをうまく推進力に変えていこうと考えています。

いつも良質な音源のご提供ありがとうございます。  
今後も期待しております。

(半導体エンジニア 蔵本 貴文 様)

正直、この音源はポジショントークもあるかも、と少し構えて音源を聞きましたが、、今回も期待値越えで満足です。

本当は今回の音源の購入を見送ろうと考えていましたが、

「今後の課金の方向性や価値観をしっかり決めることは、未来に対して波及効果が大きいのでは」

とふと思いました。

そんな考えが出てきて、気付いたら購入していました。笑

北斗の拳セールス恐るべしですね。笑

私は元々微課金（本などの投資）プレイヤーで重課金はしてきませんでした。

そんな私が数年前から平成進化論を知り、パラダイムの重要性を認識しました。そして、去年から音源購入をはじめ、重課金見習いに昇格しました。笑

正直、この音源はポジショントークもあるかも、と少し構えて音源を聞きましたが、、今回も期待値越えで満足です。

私の課金に対する価値観の構築に音源が大変役に立ちそうです。

特に刺さった言葉が「お金に執着が無い事は、目標に執着がないのだ」です。

考えてみれば当たり前ですが、金があれば有利なアイテムが手に入って、有利に人生を進められる。言われてみれば当たり前なんですが、最近の「人生は金ではなく、やりがいだ！！」というメッセージに影響されて忘れていました。

冷静に考えれば、やりがいを見つけるのにも金があれば話が早いと思います。

金はツールでしかない、という言葉は理解したつもりでしたが、表面的なだけででした。金が人生を楽しむチートのツールと本気で理解していれば、もっと本気になれたと思います。本気になっていないということは、目標に対する意識が低い（熱量や危機感がない）と痛感しております。

また、オススメされた●●●●●●も読みました。

何処に人生の落とし穴が潜んでいるかわからない、と背筋が伸びてたおかげで、もっと法律や世の中の仕組みを勉強すべきだ、と思いました。

上記二つの事に気づけただけでも、元は取れたと思っています。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

重課金勢なので熱量が違いますよ。笑

結論としては、重課金と廃課金のバランスをうまく取りつつ、アイテムをゲットしていくことに決めました。

また、課金者として目利きのスキルを磨き、カスアイテムには二度と投資をしない厳しい姿勢も取ることにします。

お金だけでなく、時間や認知も無駄にしない姿勢です。  
安いからと言って無駄な本をダラダラと読まない。  
高いからと言って良いものだと思わず価値を冷静に判断する。  
良いアイテムを手に入れたら、すぐに実装するために行動する。

具体的には上記は徹底したいと思います。

長い感想文になりましたが、こんな文章を書けるようになったのも、平成進化論と出会えたおかげです。

言葉に興味を持ち、言葉を集め、自分で編集して発信する。この習慣が今も続いているおかげで、感想文くらいは書けるようになりました。

音源やメルマガのおかげで少しは成長できました。

この場をお借りして感謝いたします。

今後も、新しい音源を期待しております。

(Y. I 様)

今こそ、課金をして質の高い学びを続けるしかない、ちょうど10月は誕生日でもあるので、自分への誕生祝いを兼ねて、今回の音源を購入したいと思います。

重課金無双音源については、前は、システム&カオス音源が十分咀嚼できていないこともあり、購入を見送っておりました。

自分への学びに課金をすることについては、直接、課金が金銭的リターンに結びつきにくい職種のため、正直まだ、心の中に「どうしようかな」と思う面はあります。

また、自分なりの学びのツールを持ち、日々の仕事を通じて、個々の事案を学びに転換し、周囲に還元する習慣も身につけておりますので、そうしたツールや習慣さえ持たずに、日々流されて生きている人が大勢いる中では、

「周囲の人と比較すると、それでも十分すぎるのではないか、自分など上等」

と思ってもしまいます。

ただ、今の自分は数十年に一度のパラダイムシフトの渦中にあります。

そこは人生、激流下りでやってきて、さらに下流への激流へと突っ込もうとしている、激流のはざまの川の曲がったところにある「淵」のような場所をゆっくりと進んでいる、船のような状態とも言えるかもしれません。

おそらく人生百年としても、こうした機会は二度と訪れない可能性が高い。そして、こうした淵はさほど長くは続かず、あと半年もすれば、再び激流に突っ込んでしまう。

激流下りの操舵中には、ご案内いただいた学びの内容を咀嚼し、課金し、さらに音源を繰り返し聞くことで自己に取り込んでいく、という時間的、精神的余裕は乏しくなり、持てる自分の知見により、日々の懸案を片付けるだけで精一杯、という状況になるかもしれません。

また、鮎谷さんの過去のメルマガを辿ってみても、今の鮎谷さんのアウトプットというのは、こう言っても大変僭越ながら、レベルアップ、グレードアップしています。特にここ数年のレベルアップが著しいことは、メルマガが質量ともにレベルアップしていることから、ひしひしと感じます。

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

今は、鮎谷さんの到達した境地、そして今年に入り、コロナ危機を受けてさらに一段の高みに達した境地から、研ぎ澄まされた言語をもとに、内面を披歴いただけ、そういう状況にあり、自分がもし現在、コロナで大ダメージを受けた業界や、コロナ対応に忙殺される医療現場、行政の医療福祉部門などにおれば、人生の船が激流下りの最中でそれどころではなかったところ、さまざまな機・縁により、深い「淵」に人生の船が差し掛かり、落ち着いた環境で、周囲を見渡し、過去を振り返り、この先を見据えられる、心理的余裕のある状況にあるのは、まさに「ご縁」があったと思わずにおれませ  
ん。

ちょうど、上の娘も中学受験をする年齢となり、世の中のことに対する知見も急速に豊かになり、非常に自分に価値観が近いこともあり、この一年あまりのパラダイムシフトの期間において、自身が仕事に忙殺されず、娘と話をする時間が取れて、自身が学んだことをいろいろ伝えられるというのも、自分が学ぶ契機になっています。

今こそ、課金をして質の高い学びを続けるしかない、ちょうど10月は誕生日でもあるので、自分への誕生祝いを兼ねて、今回の音源を購入したい  
と思います。

ご案内いただき、ありがとうございました。

(M. A 様)

私はまだ目利き力が鋭いとは言い難いですが、重課金の行動をブースターにし人生の変化を加速して参りたいと思います。

セミナー後半に進むにつれて、鮎谷さんの熱量がどんどん増している事に私も程よい緊張感の元参加させて頂きました。

まず、今日のセミナーで キーワード的に深く刺さっているものを 列挙いたします。

▼人生は課金する事で（態勢で）、ショートカットできる

▼人生重課金でうまくいく

▼知っているか、知らないかの違いは大きい

▼知らないだけの世界で生きてると、人生落とし穴だらけ

▼知識があれば想像ができる、知識がないとただノホホンと生きている

▼金に執着を持つ＝人生に執着を持つ

▼意識的無能から、無意識的有能へ

▼重課金アートを構築する

▼キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン

2匹のネズミの話

ここ数ヶ月の間で、メルマガ→音源購入（気になったもののみ）→音源3部作購入→年プロ参加決定、と、加速度的に行動を無意識に進めることが出来ました。

私の行動が重課金行動、と呼んでよいのかは分かりませんが、（少なくとも自身にとっては重課金ですが）1年前の自分が同じ判断は間違い無くしておらず 微細ながら自分の行動の意思決定基準に変化が起きている？と思えるようになりました。

（多分、日和って先送りにしていたと思います）

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

鮎谷さんからのコンサルの場でも頂いた言葉ですが、人間逆境やV字に落ちていく経験を肌で感じると意思決定基準の感度や速度が増すのではなかろうかと考えています。

また、本物を見る（知識がある）と想像ができる、とのお言葉がありましたが、重課金の経験を積むと本物を見極める「目利き」のようなものが鍛えられていくのでは？とも思いました。（安易に、安近短なものを選ばなくなる）

私はまだ目利き力が鋭いとは言い難いですが、重課金の行動をブースターにし  
人生の変化を加速して参りたいと思います。

本日も有難うございました。

（中村聖智 様）

あなた様の

最速でビジネス無双を確実なものとする

「重課金戦略」放談会音源

のご購入をお待ちしております。

お求めは下記リンクよりどうぞ。

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>

■当音源（重課金無双音源）はこちらからお求めいただけます■

<https://form.os7.biz/f/56fff617/>